

D. 継続的計画的な進路指導についての研究

— 第 2 報 告 —

鈴木洋一郎 新村 泰子 原田 秀雄 中野 満男
加藤 剛 倉田 有邦 高橋みな子 霜田美津子
富田 昇 阿部 健一

ま え が き

前年度において、われわれDグループは研究テーマの設定とその計画を考え、指導実施の一部を発表した。本年はその第2年度にあたり、継続的にかつ計画的にそのテーマを具体的に考究してその結果をまとめようとした。進路指導は対象となる生徒の成長、変化に応じて具体的に柔軟性をもち、絶えず斬新的でなければならない。この点、最初の計画と若干違う方向に進んだものもあるし、また、予想される到達点までは実現されないものもあった。しかし、グループ全員が絶えずその研究成果の情報を交換し、討論しながら次のように報告する。これはそれぞれ分担のテーマに従ってのものであり、まだ十分なものとは言いがたいが、その一端を述べて大方の御教示を得ようと思う。

本 論 — 研究の経過

I. 特活と進路指導

1. はじめに

生徒の学校生活の中における特活、特にクラブ活動の占める時間的、内容的役割は大きい。このことは、Bグループの研究のところでも述べたように、H.RのL.Tの討議題としてクラブ活動と勉強の両立が問題にされていることでもわかる。そこでクラブ活動が学習との関連において、どのようなつながりを持ち、どのように影響しているかを究明してみたいと考えた。しかしよく考えてみると、クラブ活動が時間的に、また疲労として身体的に影響している点は大きい。したがってクラブと勉強の両立という問題になると、きまったように、運動クラブのようにはげしい身体活動をするには学習の面にマイナスにこそなれ、決してプラスにならないという結論が出やすい。また保護者の考え方にはそうした考え方が非常に根強よく、時には成績の低下や成績不振の原因をクラブ活動の責任のように思いこみ、クラブ活動をやめさせれば学習能力が上がるかのように言われることさえある。また

生徒の中にもクラブ活動、特に運動クラブ活動は学習のさまたげになるという考えのもとに活動日の少ない文化クラブをえらんで途中からかわってゆく者もいる。ここではクラブ活動のそうした面について特に高校生を中心として考えてみようとした。そこで、まず本校のクラブ活動の実態を簡単に説明する。クラブの数、クラブ員数等については次の表のようである。クラブ成立の条件としては人員、顧問、活動内容、等から考慮することになっている。また1人1クラブが原則となっているが、生徒会の委員会の中の新聞報道局員、放送局員、図書委員になったものは希望によってクラブに入らなくてもよいことになっている。また活動日は原則として運動クラブが週3日、文化クラブが週2日以上活動をすることになっている。各クラブ顧問は学期末にはクラブ員の出席率や活動状況を考慮してA.B.C三段階の評価をつける。したがってクラブの出席率は高3を除く大部分の者が80%以上の出席率で、いわゆる幽霊部員はいない。(ただし高3の出席は自由で強制されない)出席率の非常に悪い者(50

共同研究

%を割るような者)や活動状況の悪い者については顧問、担任と相談のうえ、特別に技術クラブというのが設けられてあり、校内のいろいろな奉仕作業にあたらせているが、ほんの少数の者にすぎない。クラブは一応中高合同の形になっているが、クラブによって活動方

法はいろいろで中高別に活動日を設けているもの、男女別に活動しているもの等、活動内容、人員などによってさまざまである。運動クラブは高校生は高体連に加入し、対校試合に参加しているが、中学生は原則として対校試合には参加していない。

昭和41年度 クラブ登録集計表 (4月23日現在)

学年	中			中男計	女			中男女計	高			高男女計	中			中高男女計						
	1	2	3		1	2	3		1	2	3		1	2	3							
テニス	7	8	7	22	3	12	4	19	41	10	12	9	31	4	7	6	17	48	53	36	89	
卓球	4	7	5	16	4	3	7	7	23	11	4	8	23	4	4	4	13	36	39	20	59	
バレーボール				0	4	6	16	26	26	11	9	6	26	9	5	5	19	45	26	45	71	
バスケットボール	7	5	4	16	2	10	2	2	18	9	5	11	25	5	7	4	16	41	41	18	59	
バドミントン		1	1	2	2	3	15	2	17	10	7	3	20	6	3	2	11	31	22	26	48	
サッカー	1	5	10	16				16	16	8	9	12	29				1	29	45		45	
水泳	3	1	7	11		1		2	13	3	3	1	7			1		8	18	3	21	
軟式野球	4	5	2	11				11	11	8	3	3	11				0	11	22		22	
陸上競技	5	2	5	12				0	12				0				0	0	12		0	12
文士誌	3	5		8	3			3	11	2		9	11			5	5	16	19		8	27
文芸語		1		2	6			13					0		5		4	4	2		15	17
英会話				0				1	1				0		5		12	12	0		13	13
化学	8	9		19				0	19	2	8		10				0	10	29		0	29
地学			2	1				0	1	6		6	6				0	6	7		0	7
無線	5	1	1	6				0	6	4	1	5	10				0	10	16		0	16
美術	1			1	10	2	20	6	21	3	6	9	9	4	5	1	10	19	10	30	40	
合唱				0	4	2	6	6	3	3		3	3	9	5		14	17	3	20	23	
テラスバンド	4	1		13	1		4	4	17	5		5	15			0	20	15	28	4	32	
家庭				0	2	1	3	3	3				3	1	8	11	4	20		23	23	
芸能				0			0	0	0	1	2		3		4	4	4	7	3	4	7	
放送局、報道局、その他										1	5	1	7	2	1		3	10	7		3	10
総計	52	51	53	156	38	40	41	119	275	97	88	61	246	51	55	43	149	395	402	268	670	

(注) この他にクラブ員が集まらないために現在活動休止中のクラブとして、生物、物理、演劇写真の4クラブがある。また41年後期から茶道クラブが新設された。

D. 継続的計画的な進路指導についての研究

2. クラブ活動への参加の状況

41年 第1学期における各クラブ活動参加率 (人員)

	出席率	1 年			2 年			3 年			合 計		総 計
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	
運 動 ク ラ ブ	90%以上	38	8	46	29	19	48	1		1	68	27	95
	80	9	5	14	6	4	10	3	1	4	18	10	28
	70	7	9	16	4		4	3	1	4	14	10	24
	60	5	2	7	2		2	4		4	11	2	13
	50	4	3	7	3	1	4	7	2	9	14	6	20
	40							4		4	4		4
	30	1		1	1		1	6	1	7	8	1	9
	20	1		1				5	1	6	6	1	7
	10							8	3	11	8	3	11
	0							9	12	21	9	12	21
	小 計		65	27	92	45	24	69	50	21	71	160	72
文 化 ク ラ ブ	90%以上	12	4	16	12	3	15				24	7	31
	80	3	5	8	4	6	10	3		3	10	11	21
	70	3	5	8	3	5	8	2		2	8	10	18
	60	3		3	1	5	6				4	5	9
	50	1	1	2	1	1	2	1		1	3	2	5
	40	3	1	4	2		2				5	1	6
	30				3	1	4	1	5	6	4	6	10
	20				2	1	3	1		1	3	1	4
	10		1	1								1	1
	0	1	2	3				1	16	17	2	18	20
	小 計		26	19	45	28	22	50	9	21	30	68	62
総 計		91	46	137	73	46	119	59	42	101	223	134	357

上記の表からわかるように高1, 高2の参加率は非常に高いことがわかるが, 逆に高3の参加率の低いことが目立つ。これは高3の参加が自由参加の形になっており, クラブの運営も高2が中心となっている。そ

れと同時に高3の生徒は大学入試にそなえての実質的, 精神的負担がクラブに熱中させず, クラブ活動への参加が息抜きの, レクリエーション的参加の形になっている。

3. クラブの継続と変更

41年4月におけるクラブ登録時のクラブ継続と移動の状況 (人員)

移 動	学 年 性 別	1 年			2 年			3 年			総 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
運 動 ク ラ ブ 継 続		20	14	34	40	24	63	48	21	69	108	58	166

共 同 研 究

文化クラブ継続	12	4	16	18	11	29	5	19	24	35	34	69
運動クラブより他の運動クラブへ	17	6	23	3		3	1		1	21	6	27
文化クラブより他の文化クラブへ	10	6	16	5	5	10	4		4	19	11	30
運動クラブより文化クラブへ	4	5	9	10	9	19	1		1	15	14	29
文化クラブより運動クラブへ	20	7	27	6	4	10	1	1	2	27	12	39
いままでやっていなくて運動クラブへ	9	1	10							9	1	10
いままでやっていなくて文化クラブへ	1	4	5							1	4	5
委員、局員としてクラブへは加入しない							1		1	1		1
計	93	47	140	82	52	134	60	41	101	236	140	376

41年10月 前、後期切換え時におけるクラブの移動の状況 (人員)

移 動	学 年		1 年		2 年		合 計	
	性 別		男	女	男	女	男	女
運動クラブから他の運動クラブへ			4				4	
文化クラブから他の文化クラブへ			1	6	2		3	6
運動クラブから文化クラブへ			3	3	1	2	4	5
文化クラブから運動クラブへ			1	2			1	2
計			9	11	3	2	12	13

本校のクラブの移動については生徒会役員、委員、H.R 役員の年間、前後期の二期に分けられているのと同調して、学年始めと、九月下旬の二期においてだけ、その移動が認められている。しかし大体1年間くらい同一クラブでの活動ができなければということも指導の条件とされているので、上表のように学年はじめにくらべて、前後期切換え時の移動は非常に少ない。また上の表で目立つことは高1の入学時におけるクラブ

選択が、中学校でやってきたクラブを継続するものが約1/3で、2/3は今まで中学で行ってきたもの以外のクラブを選択するということである。また高2になって高1の時のクラブを継続するものが2/3で、1/3が再びクラブを移動するというのも、いさかかその原因を探る必要があるように思われる。この様な状態ではクラブ活動の内容が深められることに期待できない現状といえる。

4. クラブ 選 択 の 条 件

選 択 の 条 件	ク ラ ブ 性 学 年	運 動 ク ラ ブ									文 化 ク ラ ブ									総 計
		男				女				計	男				女				計	
		1	2	3	計	1	2	3	計		1	2	3	計	1	2	3	計		
ク ラ ブ の 本 質	興味がある, 好きである	48	31	33	112	18	19	19	53	165	23	26	9	58	15	23	15	53	111	276
	自己の能力をのばす	14	8	4	26	1	3	1	5	31	6	7		13	4	10	1	15	28	59
	心身をきたえる	48	34	29	111	6	12	6	27	138		1		1					1	189
人 間 関 係	仲のよい友達がいる	9	15	12	46	9	6		15	61	5	4	1	10	4	6	5	15	25	86
	よい上級生がいる	9	3	4	16	1	2		3	19	4	1		5	2		1	3	8	27
活 動 内 容	活動が活発である	11	8	8	27	4	6	1	11	38	2	2		4		1		1	5	43
	顧問の先生が熱心である	9	6	8	23	3	5		8	31	6	2	2	10		3	2	5	15	46

D. 継続的計画的な進路指導についての研究

学習との関係	学習に役立つ	1		1	2		1	1	3	1		1	2	1	1		2	4	7	
	勉強に影響しない	3	1	2	6	1		1	7	3	5	1	9	1	2	1	4	13	20	
	疲れない	2	1		3				3	3	7		10	8	5	2	14	25	28	
その他	いろいろなクラブ活動を経験する	14	1	4	19	3	2	2	7	16	3	6	1	10	1	2	1	4	14	40
	親の賛成がある	4	1	1	6	1			1	7	2	1		3	2	3	1	6	9	16
	その他	3	6	12	21	1	1	2	4	25	1	4	2	7	2	3	4	9	16	41

この表からいろいろのことがわかるけれども焦点をはじめにいったように学習とクラブというところにしてみると、クラブ選択にあたって学習との関係を或程度考えていることがわかる。クラブ活動が学習に対してプラスというよりもマイナスになるという考えが強いということが、文化クラブを選択する一つの潜

在的条件であるとも考えられる。高3にこの条件に対する選択が少いのは、高3になってからのクラブ活動への参加が自由になっていることのためであろうということは、前にあげた、出席率の表、クラブ移動の表からもわかる。

5. クラブ活動と勉強との関係をどう感じているか

状態	クラブ										総計								
	運動クラブ					文化クラブ													
	男				女				運	男				女				文	
1	2	3	計	1	2	3	計	計	1	2	3	計	1	2	3	計	計		
クラブも勉強もうまくいっている	4	1	2	7	1			1	8	5	5	3	13	4	4	1	9	22	30
一応うまくいっている	19	15	11	45	5	4	1	10	55	5	8	1	14	2	5		7	21	76
クラブには熱中できるが勉強には熱中できない	12	9	5	26	4	4		8	34	6	7		13	2	5		7	20	54
クラブは適当にやって勉強に重点	4	2	22	28	2		2	4	32	2		2	4	5	2	8	15	19	51
どちらも熱中できない	7	3	5	15	4	6	4	14	29	4	8	5	17	4	5	6	15	32	61
クラブで疲れて勉強が十分できない	12	13	2	27	6	9	1	16	43										43
クラブに時間をとられて勉強が十分できない	4	7		11	1	3	1	5	16					1			1	1	17
その他	9	2	5	16	4	2	12	18	34	4	4	1	9	1	3	4	8	17	51
無答					1	1	2	2	2					1			1	1	3
計	71	52	52	195	27	29	22	78	253	26	32	12	70	19	25	19	63	133	386

勉強とクラブをうまく両立させているというものは運動クラブでは約25%、文化クラブでは約30%であって、あとのものは多少の差はあれ、勉強に対してクラブを両立させることの困難をあげている。この中で、はっきりと勉強重点と割り切っているのは高3の運動クラブ員に多く、時間的、肉体的に負担になるといっているのは明らかに運動クラブ員で約25%ある。そうすると現在のクラブ活動をささえているものは一体何であろう。クラブ活動のもつ本質的な楽しさ、対外試合、レクリエーション的意義、人間関係、もっと消極的に考えれば1人1クラブ選択が原則となっているためにいやいやながらというのであろうか。それについてしらべたのが次の二つの調査である。

6. 勉強とクラブを両立させるためにクラブ活動をどのようにしたらよいか

ここにでてきたものは表にあげたように非常に消極的なもので前の調査を裏付けするようなものが多い。しかしながらここで面白いのは、運動クラブで、クラブ活動の時間的、肉体的負担を軽減するために活動日や活動時間をへらすことには相当数のものが賛成しているにもかかわらず、対外試合をやめたり減らしたりすることには賛成していないという点で、現在のように高体連の試合に参加しても余りパットした成績のあげられていない現状であっても、現在よりも活動日、活動時間を減らし、しかも試合には出たいという考え方であろう。

共 同 研 究

方 法	クラブ		運 動 ク ラ ブ								文 化 ク ラ ブ								総 計		
	性 学 年	年	男				女				運 計	男				女				文 計	
			1	2	3	計	1	2	3	計		1	2	3	計	1	2	3			計
			1	2	3	計	1	2	3	計		1	2	3	計	1	2	3			計
希 望 加 入	6	6	8	20	4	4	3	11	31	11	8	3	22	3	10	3	16	38	69		
活 動 日 を 少 く す る	14	12	9	35	3	2		5	40	2		1	3	2	2	1	5	8	48		
活 動 時 間 を へ ら す	17	8	2	27	3	4		7	34	1	1		2	1	1		2	4	38		
練 習 方 法 を ら く に	2	1	1	4	3	1	1	5	9										9		
対 校 試 合 を や め る		2		2					2										2		
全 大 戦 だ け や め る	6	3	1	10	3	1		4	14	2	3	1	6			1	1	7	21		
対 校 試 合 の 回 数 を へ ら す	1	1		2	2	3	1	6	8										8		
ク ラ ブ へ の 出 席 を 自 由 に	12	11	11	34	5	7	1	13	47	5	6	1	12	4	3		7	19	66		
ク ラ ブ の 仲 間 同 志 で 一 緒 に 勉 強 す る	8	7	2	17	3	2	1	6	23	7	4		11	2	3		5	16	39		
そ の 他	16	10	13	39	4	7	4	15	54	6	6	3	15	3	3	7	13	28	82		
無 答	11	8	9	28	7	2	13	22	50	6	9	3	18	8	8	7	23	41	91		
計	93	69	56	218	37	33	24	94	312	40	37	12	89	23	30	19	72	161	473		

7. クラブ活動を自由参加としたら、あなたはクラブには入りますか、入りませんか

参 加 の 態 度	クラブ		運 動 ク ラ ブ								文 化 ク ラ ブ								総 計		
	性 学 年	年	男				女				運 計	男				女				文 計	
			1	2	3	計	1	2	3	計		1	2	3	計	1	2	3			計
			1	2	3	計	1	2	3	計		1	2	3	計	1	2	3			計
つ づ け る	46	35	30	111	19	15	10	44	155	19	19	6	44	10	12	10	32	76	231		
や め る	4	4	6	14	2	4	6	12	26	3	9	3	15	2	5	5	12	27	53		
わ か ら な い	16	10	14	40	8	7	6	21	61	5	5	1	11	7	8	4	19	30	91		
計	96	49	50	165	28	27	22	77	242	27	33	10	70	19	25	19	63	133	375		

前の調査のような考え方で、実際クラブ活動に対してどのくらいの熱意をもっているのだろうか。もしクラブを希望加入にしたらどうするかという問に対して出てきたのが上の数字で、前の調査で希望加入にしたらといったとほぼ同数のものが「やめる」と答えている。「わからない」と答えたものは、クラブ活動に対する一応の未練と、人間関係のうで、「あの子がやるなら」とか「あの子がやめるなら」ということなど

が、やるかやらないか決定の要因となってくるのであろう。

8. クラブはマイナスになるばかりか

今までクラブ活動が勉強のうえにマイナスとなるということが大きくでてきたのであるが、ここで方向をかえてクラブ活動がプラスの面として、役立っているとすればどのような面にあるのだろうか。

影 響	クラブ		運 動 ク ラ ブ								文 化 ク ラ ブ								総 計		
	性 学 年	年	男				女				運 計	男				女				文 計	
			1	2	3	計	1	2	3	計		1	2	3	計	1	2	3			計
			1	2	3	計	1	2	3	計		1	2	3	計	1	2	3			計
丈 夫 に な っ た	33	26	32	91	8	9	7	24	115		1		1					1	116		
明 朗 に な っ た	3	13	6	22	1	3		4	26		4		4	3	3		6	10	36		

D. 継続的計画的な進路指導についての研究

勉強にファイトがわくようになった	3	4	5	12	2	1		3	15		1	1	2				2	17	
ねばり強くなった	9	9	4	22	3	2	2	7	29	4	3		7		2	3	5	12	41
友達づきあいがよくなった	18	16	6	40	4	9	6	19	59	8	7	1	16	3	7	3	13	29	88
時間の使い方上手になった	10	3	3	16	1	1	1	3	19	3	7		10	3	1	1	5	15	34
毎日が楽しくなった	18	12	8	38	2	7	2	11	49	5	5	3	13	3	8	2	13	26	75
上級生や先生と親しくなった	17	22	13	52	11	9	9	29	81	9	4	3	16	4	5	10	19	35	116
動作がはきはきするようになった	6	4	3	13		1		1	14				1	1			2	2	16
その他	11	3	7	21	5	3	4	12	33	4	11	3	18	3	5	5	13	31	64
無答	4		2	6	2	2	2	6	12	4	3	2	9	7	3	2	12	21	33

これでわかるように精神的にも、実生活のうえにもクラブ活動がプラスの結果があることを多かれ少なかれ感じている。このことは直接、間接に勉強のうえにも現われているはずであるが、そうしたプラス面を差引いてもクラブ活動はマイナスになるというのが、現

状であろうか。

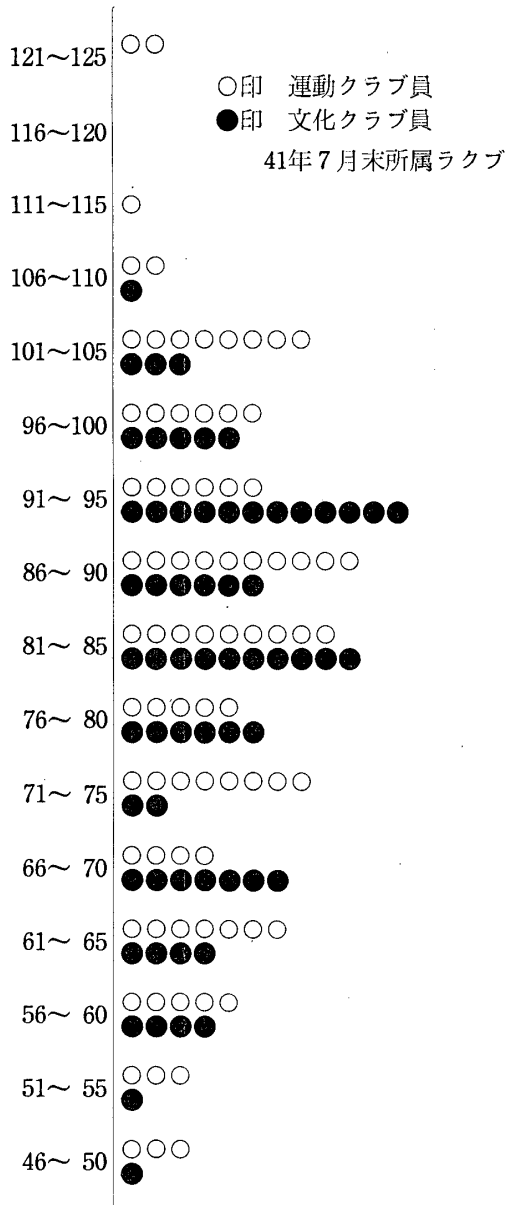
8. クラブ活動と学習成績との関係

それでは最後にクラブ活動が学習成績に直接どんなに影響していると感じているのだろうか。

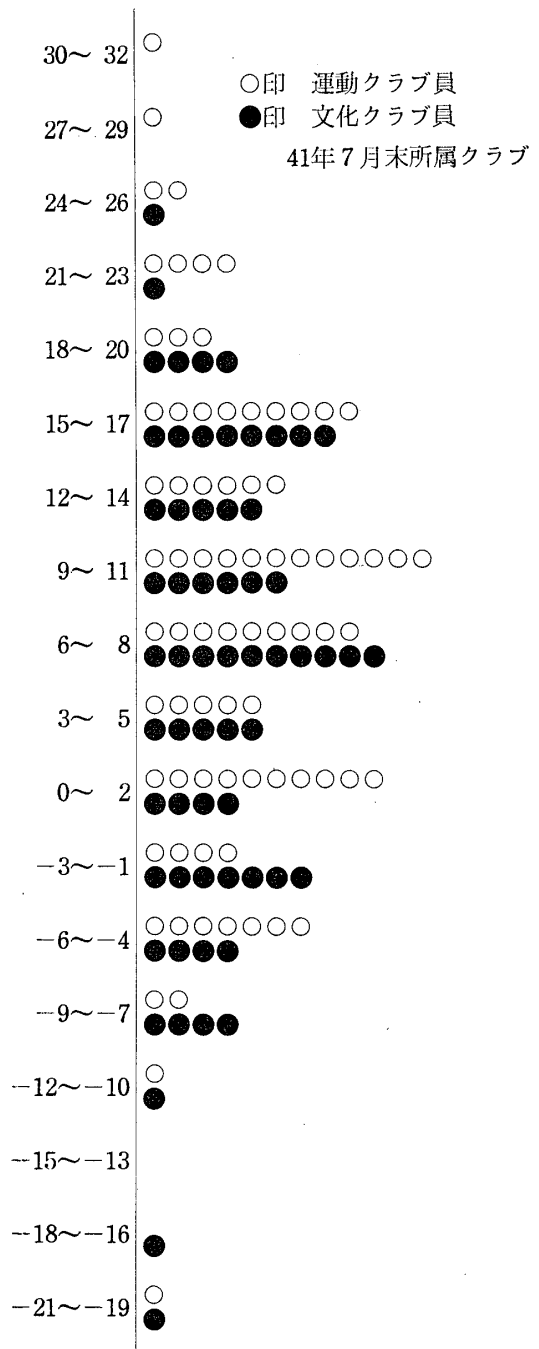
影 響	クラブ 性		運 動 ク ラ ブ							文 化 ク ラ ブ							総 計			
	学 年	年	男			女			運 計	男			女			文 計				
			1	2	3	計	1	2		3	計	1	2	3	計					
よ く な っ た				2			2		2											2
影 響 な い	34	17	37	88	15	9	13	37	125	18	22	8	48	16	21	17	54	102	227	
悪 く な っ た	11	20	5	36	6	9	4	19	55	4	3		7					7	62	
わ か ら な い	21	10	8	39	7	9	5	21	60	5	8	2	15	3	4	2	9	24	84	
計	66	49	50	165	28	27	22	77	242	27	33	10	70	19	25	19	63	133	375	

クラブ活動が勉強に影響する、マイナスになるとい
いながら、それでは本当にそうかときめつけてみると
上の表のようで、クラブ活動をやったために成績が悪
くなったとはっきり言い切っているものは運動クラブ
員の20%、文化クラブ員では僅かに5%にすぎない。
反対にクラブ活動は成績に影響しないと切り切ったも
のが運動クラブ員の50%、文化クラブ員の75%に及ん

でいる。そこで実際に現在の高2について、高1の1
学期の成績と高2の2学期末の成績とを比較し、運動
クラブ員と文化クラブ員に分けてみたのが次の表であ
る。果してこの表から運動クラブ活動が学習にマイナ
スになる面が文化クラブ活動よりも多いということが
言えるだろうか。



10段階評価 (14科目) 合計の
分配表 (高2, 141名 第2学期
末評価による)



10段階評価合計の高2第2学期末
(14科目) と高1第1学期末 (12
科目) との差の分配表
(現高2, 141名について)

9. ま と め

昨年にひきつづいてクラブ活動と学習とを関連つけていろいろ考えてきたが、まだ非常に表面的な取り扱いであって、今後に残された問題がたくさんある。しかし、これによって、かえって今後どうすればよいかという1つの方向が、幾分はっきりしてきたようにも思う。とにかく勉強とか、学習成績を左右する要因は

内因的なものも少なくないし、それを単にクラブ活動という外因の一つだけを取りあげて考えようとするには大分無理がある。しかしその無理がある。しかしその無理を承知でこの問題に取り組んだのは、幾分でも考える手がかりをつかむことができたということで行ってみたのである。来年度はこれをもとにして更に発展させてみたいと考える。

(原田)